学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
ソーイングⅠ									73 コマ			
担当教員	井手 真由				科目区分	講義			演習		実習	100%
授業目的	パターンメーキングの基本と、応用力を身に付け、各種アイテムの基本的な仕様、工程、構造を製作することで学ぶ。 製作を通して、布地の扱い方、ミシン、針との関係を学び、基礎技術を身に付ける。											
到達目標	基本的な製図を理解し、工業用パターンを製作できるようになる。 縫製を通して、服の構造、始末の違いなどの知識を習得し、技術を身に付ける											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
4月	7	ミシン・道具について 基礎縫い・縫い代始末について ・針と糸について、ミシンの使い方 ・縫い代始末、ミシン縫い、手まつり、雑巾製作
4月 5月	15	セミスカート（裏無し）製作 ・スカートの構造を学び、WとH寸法の差を処理する方法を理解する ・工業用パターン、仕様書、工程分析表を理解する。
5月 6月	28	シャツブラウス製作 衿の考え方・袖の考え方（傾斜の違いについて） 工業用パターン、仕様書、工程分析表を理解し、仕事の効率を学ぶ。 ＊部分縫い ・袖口開き始末3種類（短冊,スラッシュなど） 高校教諭授業見学会
6月 7月 9月	18	ワンピース製作 ＊ワンピースの基本構造を知る ＊身体の形状への理解を深め、胸ぐせダーツ、ウエストダーツの展開を理解する ※ワンピース補習（遅れている学生のみ） ※パンツベースパターン ＊工業用パターンの作成、仕様工程、スケジュールに沿った作業が出来るようになる。
9月	5	パンツ製作 ＊パンツの基本構造を知る

留意事項	
教材、資料等	文化ファッション体系『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』 ヒロ・デザインジャケット冊子、プリントコピー
評価方法 対象・比重	・製作物75％・提出物（レポート）10％・取組姿勢15％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
ソーイングⅠ									95 コマ			
担当教員	井手 真由				科目区分	講義	10%		演習		実習	90%
授業目的	パターンメーキングの基本と、応用力を身に付け、各種アイテムの基本的な仕様、工程、構造を製作することで学ぶ。 製作を通して、布地の扱い方、ミシン、針との関係を学び、基礎技術を身に付ける。											
到達目標	基本的な製図を理解し、工業用パターンを製作できるようになる。 縫製を通して、服の構造、始末の違いなどの知識を習得し、技術を身に付ける											

授業内容(授業展開)

時期	日程	コマ数	授業内容
10月	17		＊工業用パターンの作成、仕様工程、スケジュールに沿った作業が出来るようになる。 (切替ポケット、シームポケット) ※各自デザイン(条件…ポケット付、持出し・見返し付ファスナー、丈は膝より長い事)
11月 12月 1月	46		[ジャケット] ＊ジャケットの基本構造を知る ＊工業用パターンの作成、仕様工程、スケジュールに沿った作業が出来るようになる。 ※各自デザイン(条件…ポケット付、テーラードカラー、2枚袖) [裏付スカート] ＊裏付スカートの基本構造を知る ※ベンツ仕様、コンシールファスナー、ウエスト見返し)
2月 3月	32		オリジナルショップ商品製作 ＊応用作品を通し、構造を理解し、商品知識、デザインのバリエーションを広げる。 (部分縫い)

留意事項	
教材、資料等	文化ファッション体系『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』 ヒロ・デザインジャケット冊子、プリントコピー
評価方法 対象・比重	・製作物75%・提出物(レポート)10%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良° (89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
ドレーピングⅠ									28			
担当教員	本田　茂貴				科目区分	講義	10%		演習		実習	90%

実務経験のある教員等による授業科目	○	経験内容	経験年数:13年　業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)～婦人服アパレルメーカにてデザイナー、パタンナーアシスタント～パタンナー及び生産管理業務に従事。平成17年～通常業務に加え、海外工場の指導、生産管理担当者に就任。

授業との関連性	身体の形状理解から原型の成立ちを学び、各アイテムの製図理論と服飾造形の基礎知識、平面製図を理解しながらドレーピングの基礎を学ぶ。また各アイテムの基本のドレーピング方法を指導。
授業目的	身体(立体)の形状を理解し、基本的なドレーピングの技術・知識を身につける。
到達目標	基本的なアイテムをドレーピングで型をおこせるようになる。

授業内容(授業展開)

時期	回数	授業内容
4月	6	立体裁断とは　原型について　ボディの準備 ボディテープ貼り 原型　地直し、ピン打ち等、立体裁断の基礎の習得
5月	6	原型展開について(衣服の基本形) ・原型展開を通してボディーの凹凸を学び、理解する。 ・布の布目を理解する タイトフィット
	4	タイトスカート
6月	4	セミタイトスカート
7月	4	フレアスカート
9月	4	トルソーシルエット

留意事項	
教材、資料等	
評価方法 対象・比重	*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									総単位時間数			
ドレーピングⅠ									34			
担当教員	本田　茂貴				科目区分	講義			演習		実習	100%

実務経験のある教員等による授業科目	○	経験内容	経験年数:13年　業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)～婦人服アパレルメーカにてデザイナー、パタンナーアシスタント～パタンナー及び生産管理業務に従事。平成17年～通常業務に加え、海外工場の指導、生産管理担当者に就任。
授業との関連性	身体の形状理解から原型の成立ちを学び、各アイテムの製図理論と服飾造形の基礎知識、平面製図を理解しながらドレーピングの基礎を学ぶ。また各アイテムの基本のドレーピング方法を指導。		

授業目的	・基本的なパターン作成、展開の理論を理解し、自分でパターン作成が出来るようになる。
	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作を理解し応用出来るようになる。
到達目標	・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開が出来るようになる。

授業内容(授業展開)

時期	回数	授業内容
10月	6	ローウエスト切り替えのワンピース 切替えのバランスやバリエーションの広がりを学ぶ
11月	6	プリンセスラインのワンピースドレス ウエストラインの絞りと柔らかなフレアを出すカッティングを学ぶ
12月	6	ハイウエスト切り替えのワンピースドレス ワンポイントの表情を生かすデザインのライン、フィット感を学ぶ
	4	ゴアードスカート 切替え線をデザイン線という感覚面だけでなく、効果的な体形カバーとの関連性を理解する
1月	4	ヨーク切り替え　ボックスプリーツスカート ヨーク切り替えでのダーツ処理、プリーツの構造を理解する
2月	4	衿のバリエーション スタンドカラー シャツカラー 台衿付きシャツカラー フラットカラー オープンカラー
3月	2	まとめ
	2	小テスト　衿付きのトップス

留意事項	
教材、資料等	・文化ファッション体系アパレル生産講座③　立体裁断　基礎編
評価方法 対象・比重	・立体裁断トワル・パターン70%・小テスト20%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	ファッションビジネス科・プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
パターンメイキングⅠ									46			
担当教員	北﨑　秀子				科目区分	講義	100%		演習		実習	
授業目的	パターンメーキングの基本と、応用力を身に付け、各種アイテムの基本的な仕様、工程を学ぶ。											
到達目標	基本的な製図を理解し、仕様、工程が立てられるようになる。 また、パターン、縫製工程を通して、服の構造を理解する。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
4月	9	原型について（平面と立体について・ダーツとは）　ソーイング ・原型トレース（ラインの引き方・名称・パターン記号について） ・ダーツ移動と分散　基礎縫い ・胸ぐせダーツをデザイン線へ展開 スカートについて　（スカートの構造を学び、WとH寸法の差を処理する方法を理解する） ・タイトスカート ・セミタイトスカート
5月	10	製作セミタイトスカート　¼　縫代付け・工程・仕様・マーキング スカートのデザイン展開 ・フレアースカート（フレアーの考え方）　セミタイトスカート製作 ・ゴアード・ボックスプリーツ・サイドプリーツ・ペッグトップ シャツについて（衿の考え方、袖の考え方を理解する）
6月	12	・シャツブラウス ・衿の考え方・袖の考え方（傾斜の違いについて） ・ウエスタン調のシャツブラウス ・メンズシャツ　シャツ製作 製作シャツブラウス　¼　縫代付け・工程・仕様・マーキング
7月	7	ワンピースについて(シルエット、デザイン展開について学ぶ) ・縦の切り替え、横の切り替え パンツについて（パンツの構造を学び、理解する） ・パンツについて、パンツ基礎線、ストレートパンツ ・ワイドパンツ・メンズパンツ 製作パンツ　¼　縫代付け・工程・仕様・マーキング　パンツ製作
9月	8	ジャケットについて ・ジャケットの名称 ・ジャケットのディテール
		9月　後期評価テスト

留意事項	
教材、資料等	文化ファッション体系『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』 ヒロ・デザインジャケット冊子、パターンメーキング検定3級テキスト、プリントコピー
評価方法 対象・比重	・評価テスト70％・提出物（課題・ノート）15％・取組姿勢15％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	ファッションビジネス科・プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
パターンメイキングⅠ									56			
担当教員	北﨑　秀子				科目区分	講義	100%		演習		実習	
授業目的	パターンメーキングの基本と、応用力を身に付け、各種アイテムの基本的な仕様、工程を学ぶ。											
到達目標	基本的な製図を理解し、仕様、工程が立てられるようになる。 また、パターン、縫製工程を通して、服の構造を理解する。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
10月	11	・ジャケットについて ・基本製図（2面構成、4面構成、3面構成、1枚半袖、2枚袖） （ダーツ、パネルライン、プリンセスライン、メンズ） （衿/テーラードカラー、ショールカラー、袖/2枚袖）
11月	12	・表衿・見返しの展開、裏パターンの作成 ・工程、仕様、マーキング ・各自の1／4製図
12月	9	・各自の工程 仕様 マーキング ・応用ジャケットについて
1月	10	・タイトスカートについて タイトスカート、ハイウエストについて ・タイトスカートの表パターンから裏パターン作成 ・工程、仕様、マーキング
2月	9	・その他のアイテムのパターンの特徴について ・パターンと生産性について ・量産のマーキング、縫製仕様書について
		3月　後期評価テスト
3月	5	・グレーディングについて サイズ展開について タイトスカートのグレーディング シャツのグレーディング

留意事項	
教材、資料等	文化ファッション体系『スカート・パンツ』『ジャケット・ベスト』 ヒロ・デザインジャケット冊子、パターンメーキング検定3級テキスト、プリントコピー
評価方法 対象・比重	・評価テスト70％・提出物（課題・ノート）15％・取組姿勢15％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
服飾デザイン論									16			
担当教員	原賀　友子				科目区分	講義	60%		演習	40%	実習	
授業目的	・服飾デザインの基礎知識と技法の原則を学ぶことで、審美眼を育て、作品に反映させる。											
到達目標	・基礎デザインの原則の理論と技法を習得し、あらゆるデザインワークに活用できる。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
4月	1	概論　・形態、点、線、シルエット
	1	・プロポーション　人体とアイテム画の基本
	1	黄金比、ルート比
5月	1	・シルエット分類　（講義と演習）
	1	↓
	1	↓
	1	↓
6月	1	・イリュージョン　（講義と演習）
	1	↓
	1	↓
	1	↓
7月	1	・コンポジション
	1	・コンポジションA　ドミナント/セントラリティ　構成全体のまとめ方を学ぶ
	1	↓　（講義と演習）
9月		＜期末テスト＞
	1	・コンポジションB　シンメトリー/アシンメトリー　構成バランスによる効果を学ぶ
	1	↓
留意事項		
教材、資料等		・文化ファッション大系服飾関連講座⑨　服飾デザイン ・参考資料プリント（B4ファイル）
評価方法 対象・比重		・評価テスト50%　・提出物40%　・取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
服飾デザイン論									20			
担当教員	原賀　友子					科目区分	講義	60%	演習	40%	実習	
授業目的	・服飾デザインの基礎知識と技法の原則を学ぶことで、審美眼を育て、作品に反映させる。											
到達目標	・基礎デザインの原則の理論と技法を習得し、あらゆるデザインワークに活用できる。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
10月	1	・コンポジションC　シミラリティ/コントラスト　構成における調和のとり方を学ぶ
	1	↓
	1	↓
	1	↓
11月	1	・コンポジションD　規則/不規則/グラデーション　構成におけるリズム表現を学ぶ
	1	↓
	1	↓
	1	↓
12月	1	↓
	1	・マテリアル　テクスチャーが及ぼすデザイン効果と形態の関係
	1	↓
		↓
1月	1	↓
	1	・コンポジション応用　　基礎理論を活用してデザイン分析を行う
	1	↓
2月	1	・近代デザインの歩み
	1	↓
	1	↓
	1	↓
3月		＜期末テスト＞
	1	↓
	1	・服飾デザインについてまとめ

留意事項	
教材、資料等	・文化ファッション大系服飾関連講座⑨　服飾デザイン ・参考資料プリント
評価方法 対象・比重	・評価テスト50%　・提出物40%　・取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
カラー									16			
担当教員	原賀　友子					科目区分	講義	70%	演習	30%	実習	
授業目的	・カラーコーディネートの基礎知識と技法を習得する。											
到達目標	・デザインワークやファッションコーディネートにおいて活用することが出来る。											
	・ファッションカラー検定3級合格。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
4月	1	概論　・色彩のはたらき　道具の確認と配色カード作成
	1	↓
	1	カラーサークル作成
5月	1	・色彩の体系　三属性　↓
	1	カラーサークル、トーン、ヒュー＆トーン　トーン表作成
	1	・色彩理論　色の成り立ち、光と色　↓
	1	三原色、視覚と色　A4ファイル表紙作成
6月	1	順応　↓
	1	・色彩心理　対比、同化　演習
	1	感情効果
	1	
7月	1	・配色技法　色相の配色
	1	トーンの配色
	1	色相とトーンの配色　↓
9月		＜期末テスト＞
	1	・配色技法　無彩色・柄と無地　演習
	1	・色彩構成　ベース、アソート　・シンメトリー/アシンメトリー　↓

留意事項	
教材、資料等	・ファッション色彩〔Ⅰ〕 ・演習プリント（A4ファイル）
評価方法 対象・比重	・評価テスト60%　・提出物30%　・取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
カラー									20			
担当教員	原賀　友子					科目区分	講義	70%	演習	30%	実習	
授業目的	・カラーコーディネートの基礎知識と技法を習得する。											
到達目標	・デザインワークやファッションコーディネートにおいて活用することが出来る。											
	・ファッションカラー検定3級合格。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
10月	1	レピテーション/グラデーション
	1	アクセント/セパレーション
	1	・ファッション産業における色彩の役割
	1	・企画段階の色彩
11月	1	
	1	・生産段階の色彩
	1	
	1	・流通段階の色彩
	1	＊検定試験対応　過去問題演習と質疑応答
12月	1	↓
	1	↓
	1	↓
1月		ファッションカラー検定3級試験
	1	カラーコーディネートまとめ
	1	＊演習　対比
	1	＊演習　感情
2月	1	・流行配色
	1	↓
	1	・パーソナルカラー
3月		↓ ＜期末テスト＞
	1	↓
	1	↓
留意事項		
教材、資料等		・ファッション色彩〔Ｉ〕 ・演習プリント
評価方法 対象・比重		・評価テスト60％　・提出物30％　・取り組み姿勢10％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	ファッションビジネス科・プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
アパレル素材									17コマ			
担当教員	北﨑　秀子				科目区分	講義	80%		演習	20%	実習	
授業目的	アパレル製品の主要をなす繊維・テキスタイルへ興味を持ち、素材・布地の特性の理解を深める。 新素材・加工の技術まで含め、幅広い知識を得る。											
到達目標	天然繊維、合成繊維などの特性や布地の構造を知り、デザインや縫製との関連性や素材による製品の取り扱いの違いを理解する。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
4月	3	アパレル素材の成り立ち ・繊維から糸 ・糸から布　（繊維について、糸の撚り、三原組織）
5月	3	天然繊維の種類と特性 ・植物繊維（綿・麻）　代表的な布地 ・動物繊維（毛・絹）　代表的な布地 ・皮革　・毛皮　・羽毛について
6月	5	再生繊維の種類、特性、原料と構造 （レーヨン・キュプラ・プロミックス） 半合成繊維の種類、特性、原料 （アセテート・トリアセテート・プロミックス） 合成繊維の種類と特性、原料と構造 ・三大合成繊維（ナイロン・ポリエステル・アクリル）
7月	3	・その他の合成繊維（ビニロン・ポリエチレン・ポリプロピレン・ポリウレタン） ・新合成繊維（ナノテクノロジー・リサイクル素材・指定外繊維・・・・） ・人造皮革　・フェイクファーについて ※生地サンプル帳作り、構造観察
8月		
9月	3	糸について　☆染色のデモーストレーション 天然繊維と合成繊維の違い、混繊・混紡、混織について） さまざまな加工・新素材について 検定対策に入る

留意事項	
教材、資料等	文化ファッション体系『アパレル素材論』日本ファッション教育振興協会『ファション販売3』 繊研新聞、テキスタイルハンドブック
評価方法 対象・比重	・評価テスト70％・提出物（課題・レポート）15％・取組姿勢15％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	ファッションビジネス科・プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
アパレル素材									19 コマ			
担当教員	北﨑　秀子				科目区分	講義	80%		演習	20%	実習	
授業目的	アパレル製品の主要をなす繊維・テキスタイルへ興味を持ち、素材・布地の特性の理解を深める。 新素材・加工の技術まで含め、幅広い知識を得る。											
到達目標	天然繊維、合成繊維などの特性や布地の構造を知り、デザインや縫製との関連性や素材による製品の取り扱いの違いを理解する。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
10月	4	織物について （織物の三原組織・一重組織・重ね組織・パイル組織・特殊組織など） 編み物について （ニットの組織について、また織物との構造・特性の違い） 繊維製品に関する品質表示、取り扱い表示、衣料サイズについて
11月	4	副資材について（裏地・芯地・ボタン・ファスナー・縫い糸） さまざまな加工・新素材について レースについて 検定過去の問題を解説 ↓ 12月 ファッション販売検定
12月	3	＊生地サンプルを使用した素材の判別 ※布サンプル帳つくり まとめ・発表 ※アパレル素材の現状・話題について（繊研新聞を使った授業）
1月	3	天然皮革（革の種類、構造、特質、なめしなど） 合成皮革・人工皮革 ※繊維の燃焼実験
2月	4	毛皮・人工毛皮・羽毛・合成樹脂 ※布サンプル帳つくり
		3月2，3日　後期評価テスト
3月	1	※アパレル素材の現状・話題について（繊研新聞を使った授業）

留意事項	
教材、資料等	文化ファッション体系『アパレル素材論』日本ファッション教育振興協会『ファション販売3』 繊研新聞、テキスタイルハンドブック
評価方法 対象・比重	・評価テスト70％・提出物（課題・ノート）15％・取組姿勢15％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
デザイン画									16			
担当教員	吉永あすか					科目区分	講義	30%	演習	30%	実習	40%
授業目的	・ファッションデザイン画の基本技術から応用技術までの習得											
到達目標	・人体のプロポーションを把握し、衣服のイメージ、バランスを読み取る力、表現する力を取得する											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
4月	1	D画の描き方⇒自由画（状況を見る為、各自D画を描く）
	1	人体のプロポーションの描き方、考え方
	1	様々なポージング（正面、斜め、応用）
5月	1	着装表現（身体に対応する衣服のボリューム・丈の関係）
	1	動きのあるD画の描き方、考え方（人物と衣服の動きを学ぶ）
	4	色彩表現（デッサンに着色してみながら、様々な画材の取り扱いを学ぶ）
6月	2	想像デザイン画（個々のD画スタイルの追求）
7月	1	連鎖校コンクール作品（コンクールに挑戦）
	1	夏季休暇課題について
9月	3	全国服飾学校コンクール作品（教育振興協会）
留意事項		
教材、資料等	・文化ファッション大系服飾関連専門講座④ファッションデザイン画 ・自作ファイル	
評価方法 対象・比重	・提出作品70％・提出状況15％・取組姿勢15％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点） 良（79～70）（GP 2点）、可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。	

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
デザイン画									18			
担当教員	吉永あすか					科目区分	講義	30%	演習	30%	実習	40%
授業目的	・ファッションデザイン画の基本技術から応用技術までの習得											
到達目標	・衣服の構造、縫製を理解し、デザイン画として表現するスキルの習得											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
10月	2	＊コンテスト作品 ・全国服飾学校ファッション画コンクール
	2	＊布目の表現 ・パターンや縫製によって変わる布目を理解して描く
11月	3	＊素材表現 ・衣類に用いられる素材を描く（生地サンプルを観察してリアルに表現する） ①ウール ②ニット
12月	3	③レース ④透ける布
	3	⑤光沢のある布 ⑥皮革
1月	1	⑦毛皮
2月	3	＊自由画作品 ・一年間のまとめとして、自由なテーマでデザイン画を描く
3月	1	＊一年間のまとめ ・これまでの作品をファイルにまとめる

留意事項	
教材、資料等	・文化ファッション大系服飾関連専門講座④ファッションデザイン画 ・自作ファイル
評価方法 対象・比重	・提出作品70％・提出状況15％・取組姿勢15％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点） 良（79～70）（GP 2点）、可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
西洋服装史									16			
担当教員	原賀　友子				科目区分	講義	100%		演習		実習	
授業目的	服装の歴史を振り返ることで、社会背景や文化、技術開発などと服装の関係性や、流行の発生について学ぶ。 また、過去のデザインや製作の過程を知ることで、デザイン発想に取り入れたり、商品知識を深めて販売に繋げる。											
到達目標	時代性と社会背景を考慮した上で、服飾価値を理解し、トレンド分析や商品企画、販売に応用できる。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
4月	1	概論　・服飾の起源　・衣服の基本形
	1	・古代　オリエント（メソポタミア、シュメール、バビロニア、アッシリア、アケメネス朝ペルシア）
	1	エジプト（古王国時代、中王国時代、新王国時代）
5月	1	ギリシア＜エーゲ海文明＞クレタ文明、ミケーネ文明　＜ギリシア文明＞
	1	ローマ
	1	・中世　5～10世紀　ビザンティン帝国・ヨーロッパ　ゲルマン民族
	1	11～12世紀　＜ロマネスク＞
6月	1	13～15世紀　＜ゴシック＞
	1	15世紀　イタリア　＜イタリアルネサンス＞
	1	16世紀　スペイン、フランス、イギリス＜ルネサンス＞
	1	17世紀　オランダスタイル・ルイ14世時代＜バロック＞
7月	1	18世紀　ルイ15世時代・ルイ16世時代＜ロココ＞
	1	・近世　19世紀　フランス革命～第一帝政時代＜エンパイアスタイル＞
		フランス王制復古～七月王政時代＜ロマンティックスタイル＞
	1	フランス第二帝政時代＜クリノリンスタイル＞
		フランス第三共和制時代＜バッスルスタイル＞
9月		＜期末テスト＞
	1	＊服装史まとめ
	1	民族服と平民の服装について

留意事項	
教材、資料等	・A4ファイル ・資料、プリント
評価方法 対象・比重	・評価テスト80%　・取り組み姿勢20% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
近代服装史									20			
担当教員	原賀　友子					科目区分	講義	100%	演習		実習	
授業目的	服装の歴史を振り返ることで、社会背景や文化、技術開発などと服装の関係性や、流行の発生について学ぶ。 また、過去のデザインや製作の過程を知ることで、デザイン発想に取り入れたり、商品知識を深めて販売に繋げる。											
到達目標	時代性と社会背景を考慮した上で、服飾価値を理解し、トレンド分析や商品企画、販売に応用できる。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
10月	1	・20世紀　ベルエポック　　アールヌーボー様式＜S字スタイル＞
	1	’20　第一次世界大戦　　ギャルソンヌ、アールデコ様式
	1	’30　第二次世界大戦　　バイアスカットとスリム＆ロング、スキャパレリ・ヴィオネ
	1	’40　戦後復興と大量消費時代　ニュールックとディオールのラインシリーズ～
11月	1	’50　　アメリカンスタイル、日本の戦後復興と洋装化
	1	’60　　若者主導の時代　　オートクチュールの衰退とプレタポルテ時代の到来
	1	
	1	’70　　ファッションの多様化　既存の体制崩壊と価値観の変化
12月	1	
	1	’80　　ファッションの原点返り　バブル経済、そしてベルリンの壁の崩壊へ
	1	
1月	1	’90　　情報化社会のストリートファッション　複数の価値観
	1	
	1	・21世紀　ミックスファッションの時代　　ファッションのグローバル化
2月	1	
	1	’10　　世代を超えたサブカルチャー　　カルチャーの融合と情報化社会
	1	
	1	＊近代服装史まとめ
		＜期末テスト＞
3月	1	＊服装史まとめ
	1	（現代のファッションとクラスター）
留意事項		
教材、資料等		・A4ファイル ・資料、プリント
評価方法 対象・比重		・評価テスト80％　・取り組み姿勢20％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科1年											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
ファッションビジネス									15			
担当教員	新原　麻乃				科目区分	講義	70%	演習		実習	30%	
実務経験のある教員等による授業科目		○	経験内容	経験年数:13年　業務内容:大手アパレル会社にて販売職に従事。 経歴:大手アパレル主催ロールプレイングコンテスト優勝。優秀な販売職に称号授与。入社2～3年目の研修担当等。								
授業との関連性	13年間の販売勤務を踏まえ、アパレルの基本構造とビジネス視点での商品の成り立ちやお客様視点での考え方を講義と実習を通して教授する。											
授業目的	服飾におけるファッションビジネスの基礎を学び、時代の変化を捉える											
到達目標	ビジネスからの視点を身に着け、ファッションにおける志向の幅を広げる											

授業内容(授業展開)

時期	回数	授業内容
4月	3コマ	【ファッションビジネス】・ファッション
		・ファッションビジネス❶
		・ファッションビジネス❷
5月	3コマ	・消費者❶
		・消費者❷
		・消費者❸
6月	4コマ	【ファッションビジネスの変遷】・1950年、1960年
		・1970年、1980年
		・1990年、2000年
		・2010年、2020年予測
7月	2コマ	【産業構造・流通・生産・職種】・アパレル産業の構造❶
		・アパレル産業の構造❷
8月		夏休み(　課題:　名称復習、過去問)
9月	3コマ	・流通の基礎知識
		・アパレル生産、貿易
		・職種

留意事項	
教材、資料等	ファッションビジネス、販売技術①
評価方法 対象・比重	*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									総単位時間数			
ファッションビジネス									19			
担当教員	新原　麻乃				科目区分	講義	70%		演習		実習	30%

実務経験のある教員等による授業科目	○	経験内容	経験年数:13年　業務内容:大手アパレル会社にて販売職に従事。 経歴:大手アパレル主催ロールプレイングコンテスト優勝。優秀な販売職に称号授与。入社2～3年目の研修担当等。
授業との関連性	13年間の販売勤務を踏まえ、アパレルの基本構造とビジネス視点での商品の成り立ちやお客様視点での考え方を講義と実習を通して教授する。		

授業目的	服飾におけるファッションビジネスの基礎を学び、時代の変化を捉える
到達目標	ビジネスからの視点を身に着け、ファッションにおける志向の幅を広げる

授業内容(授業展開)

時期	回数	授業内容
10月	4コマ	【経営と情報活用】・経営　・情報活用
		【ファッションマーケティングとマーチャンダイジング】
		・ファッションマーケティング
		・ファッションリサーチ
11月	3コマ	・売り場作り(販売技術①P152～)
		・係数管理
		・スタッフの業務(販売技術①P198 ～)
12月	4コマ	・企業のルール　・ファッション販売　・検定対策
		【ロールプレイング実践】①購買心理、接客8大用語、第一印象
		②基本動作、お出迎え～ファースト
		③ニーズとウォンツ
1月	3コマ	④セールストーク、イメージングセールス
		⑤提案、フィティング
		⑥クロージング
2月	3コマ	⑦クローゼット～お見送り
		⑧通しロープレ
		⑨テスト
3月	2コマ	【VMD】①レイアウト実践(ウエア)
		②レイアウト実践(アクセ)
留意事項		
教材、資料等		ファッションビジネス、販売技術①
評価方法 対象・比重		*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
ファッションコーディネート									28			
担当教員	原賀　友子				科目区分	講義	60%		演習	40%	実習	
授業目的	ファッションコーディネートの基礎知識と分類、分析の手法を学ぶことで、リサーチや商品企画、接客力に反映させる。											
到達目標	マーケティング上の分類方法を理解し、調査、分析ができる。											
	相手の要望を理解し、コーディネートのポイントを相手に合わせてプレゼンテーションできる。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
4月	2	概論　・ファッションコーディネートとは　・コーディネート分類
	2	・ファッション感性　（講義と演習）
5月	2	↓
	2	↓
	2	↓
	2	↓
6月	2	・オケージョン分類　（講義と演習）
	2	↓
		・トレンド分析　A/Wコレクショントレンドの分類と分析
	2	↓　注目トレンドのリサーチとプレゼンテーション（講義と演習）
7月	2	↓
	2	↓
		＜イベント　準備日＞
9月	2	前期のまとめ
		＜期末テスト＞
	2	・テイスト分類　（講義と演習）
	2	↓
留意事項		
教材、資料等		・ファッション販売3　・ファッションビジネス〔Ⅰ〕改訂版 ・参考資料プリント（A4ファイル）
評価方法 対象・比重		・評価テスト60%　・提出物30%　・取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
ファッションコーディネート									34			
担当教員	原賀　友子				科目区分	講義	60%		演習	40%	実習	
授業目的	ファッションコーディネートの基礎知識と分類、分析の手法を学ぶことで、リサーチや商品企画、接客力に反映させる。											
到達目標	マーケティング上の分類方法を理解し、調査、分析ができる。											
	相手の要望を理解し、コーディネートのポイントを相手に合わせてプレゼンテーションできる。											

授業内容（授業展開）

時期	コマ数	授業内容
		（始業式）
10月	2	・シルエット分析　コレクション誌、ファッション誌、ショップのリサーチと分析
		＜高校生ファッション画コンテスト準備日＞
	2	（講義と演習）
	2	
11月	2	
	2	・ファッションスタイル分類　ヨーロピアン・ブリティッシュ・イタリアン・アメリカンなど
	2	（講義と演習）
	2	・トレンド分析　S/Sコレクショントレンドの分類と分析
12月	2	注目トレンドのリサーチとプレゼンテーション（講義と演習）
	2	
	2	
1月	2	・イメージ分析応用　デザインの傾向と消費者心理との関係について学ぶ
	2	・ブランド調査　ブランドの基本情報をリサーチし、競合店との比較分析を行う
	2	（講義と演習）
	2	
2月	2	
		＜期末テスト＞
	2	プレゼンテーション
3月	2	まとめ

留意事項	
教材、資料等	・ファッション販売3　・ファッションビジネス〔Ⅰ〕改訂版 ・参考資料プリント
評価方法 対象・比重	・評価テスト60%　・提出物30%　・取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。